

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法

規

〔1〕 無線局の免許を与えられないことがある者はどれか。次のうちから選べ。

- 1 刑法に規定する罪を犯し懲役に処せられ、その執行を終わった日から2年を経過しない者
- 2 電波法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わった日から2年を経過しない者
- 3 無線局の免許の取消しを受け、その取消しの日から5年を経過しない者
- 4 無線局を廃止し、その廃止の日から2年を経過しない者

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その^{きよう}筐体の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が☐ に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 他の電氣的設備の機能
- 2 自動レーダープロットング機能
- 3 磁気羅針儀の機能
- 4 自動操舵装置の機能

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 無線局に備え付ける。
- 2 携帯する。
- 3 航海船橋に備え付ける。
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 電波法に違反したとき。
- 2 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 3 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 4 免許証を失ったとき。

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 2 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
- 3 船舶の所有者に通報する。
- 4 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。

〔6〕 次の記述は、業務書類等の備付けについて述べたものである。電波法の規定に照らし、☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線局には、☐ 及び無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。ただし、総務省令で定める無線局については、これらの全部又は一部の備付けを省略することができる。

- 1 無線設備等の点検実施報告書の写し
- 2 無線局の免許の申請書の写し
- 3 無線従事者免許証
- 4 正確な時計

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 船舶局におけるデジタル選択呼出通信の呼出し（遭難通信、緊急通信及び安全通信を行う場合のものを除く。）は、何分間以上の間隔をおいて2回送信することができるか。次のうちから選べ。

- 1 5分間
- 2 1分間
- 3 15分間
- 4 10分間

〔8〕 無線局は、無線機器の試験又は調整のため電波の発射を必要とするときは、電波を発射する前になにを確かめなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 発射しようとする電波の空中線電力が十分であることを確かめる。
- 2 発射しようとする電波の周波数をあらかじめ測定する。
- 3 自局の発射しようとする電波の周波数に隣接する周波数において他の無線局が重要な通信を行っていないことを確かめる。
- 4 自局の発射しようとする電波の周波数及びその他必要と認める周波数によって聴守し、他の無線局の通信に混信を与えないことを確かめる。

〔9〕 次の記述は、海上移動業務の無線局の無線電話通信における応答事項を掲げたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- | | |
|------------|----------------------|
| ① 相手局の呼出名称 | 3回以下 |
| ② こちらは | 1回 |
| ③ 自局の呼出名称 | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回以下
- 3 3回以下
- 4 3回

〔10〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 遭難通信を行う場合
- 2 安全通信（安全呼出しを除く。）を行う場合
- 3 緊急通信（医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。）を行う場合
- 4 呼出し又は応答を行う場合

〔11〕 遭難通報を受信した船舶局は、直ちに誰にその通報を通知しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その船舶の責任者
- 2 その船舶局の免許人
- 3 海上保安庁の海岸局
- 4 適宜な海岸局

〔12〕 次の記述は、遭難の呼出し及び通報について述べたものである。国際電気通信連合憲章の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信の局は、遭難の呼出し及び通報を、、絶対的優先順位において受信し、同様にこの通報に応答し、及び直ちに必要な措置をとる義務を負う。

- 1 自国の領海で発せられた場合には
- 2 公海で発せられた場合には
- 3 自国の領海及び公海で発せられた場合には
- 4 いずれから発せられたかを問わず